



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 大
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL)059(227)2932
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,546	2.3	21	△68.0	31	△58.4	△5	—
24年3月期第3四半期	2,489	4.7	68	—	76	—	62	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △2百万円(—%) 24年3月期第3四半期 50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△0 76	—
24年3月期第3四半期	7 90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,274	1,853	43.4
24年3月期	4,328	1,893	43.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,853百万円 24年3月期 1,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	4 00	4 00
25年3月期	—	0 00	—		
25年3月期(予想)				5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	5.7	170	22.3	175	19.9	100	△48.9	12 71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	8,257,600株	24年3月期	8,257,600株
25年3月期3Q	392,715株	24年3月期	392,637株
25年3月期3Q	7,864,909株	24年3月期3Q	7,865,966株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等により企業業績や個人消費に回復の兆しが見られるなど緩やかながら回復に向かいつつあります。

そのような状況の中、当社グループでは、積極的な製品開発に取り組み、主力商品である土木工事積算システムの新バージョンを9月に、プロジェクト・マネジメントソフトの新バージョンを12月に投入いたしました。プロジェクト・マネジメント分野においては、海外販路の拡大にも取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して2.3%増加し、2,546百万円となりました。

利益面では、プロジェクト・マネジメント分野における海外市場開拓に伴う費用が増加したことから、経常利益は前年同期に比して58.4%減少し、31百万円となりました。また、四半期純損失は、東京事務所の移転に伴う特別損失(13百万円)を計上したことなどにより、5百万円(前年同期は四半期純利益62百万円)となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

(建設関連事業)

建設関連事業につきましては、9月に主力商品である土木工事積算システムの新バージョンを投入したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して0.2%増加し、1,955百万円となりました。

利益面では、プロジェクト・マネジメント分野における海外市場の開拓に積極的な投資を行ったことから費用が先行し、セグメント損失は35百万円(前年同期はセグメント利益30百万円)となりました。

(設備関連事業)

設備関連事業におきましては、営業人員の拡充に加えて前期に行った営業エリアの拡大による効果もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して9.8%増加し、591百万円となりました。売上増に伴い、セグメント利益は、前年同期に比して36.4%増加し、72百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて53百万円減少し、4,274百万円となりました。これは主に、投資有価証券が156百万円増加し、受取手形及び売掛金が221百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、2,421百万円となりました。これは主に、その他流動負債が33百万円、退職給付引当金が30百万円それぞれ増加し、賞与引当金が47百万円、前受収益が37百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて39百万円減少し、1,853百万円となりました。これは主に、四半期純損失5百万円を計上し、利益剰余金31百万円を配当したことなどにより、利益剰余金が42百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.3ポイント減少し、43.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて19百万円増加し、992百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は229百万円（前年同四半期は251百万円の獲得）となりました。これは主に、退職給付引当金の増加30百万円や売上債権の減少221百万円などの収入、賞与引当金の減少47百万円などの支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は212百万円（前年同四半期は44百万円の収入）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入43百万円などがあったものの、定期預金の預け入れによる支出41百万円（純額）、投資有価証券の取得による支出153百万円などがあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は31百万円（前年同四半期は0百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払31百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した業績予想から変更はありません。ただし、当第3四半期連結累計期間までの業績は、主に建設関連事業において業績予想から若干遅れております。

建設関連事業においては、第2四半期連結累計期間においては前年対比2.5%の減収でしたが、9月に主力商品のバージョンアップ版を投入したことで当第3四半期に大きく挽回し、第3四半期連結累計期間では前年対比0.2%の増収に転じております。引き続き第4四半期において、バージョンアップ版の投入効果をさらに高め、当初計画の達成に向けて全社一丸で取り組みを進めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、Being Global Services, LLCは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。なお、平成24年11月7日開催の取締役会において、同社の営業活動を当社が引継ぎ、同社は解散することを決議しており、現在清算手続き中であります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,867	1,542,273
受取手形及び売掛金	578,340	357,256
有価証券	712,925	713,813
商品及び製品	363	500
原材料及び貯蔵品	3,725	5,830
繰延税金資産	197,614	200,917
その他	19,401	31,055
貸倒引当金	△1,000	△600
流動資産合計	2,993,239	2,851,046
固定資産		
有形固定資産	234,073	246,643
無形固定資産		
のれん	351,815	335,983
その他	42,831	56,569
無形固定資産合計	394,646	392,553
投資その他の資産		
投資有価証券	313,314	469,584
その他	405,340	327,262
貸倒引当金	△12,135	△12,155
投資その他の資産合計	706,518	784,691
固定資産合計	1,335,238	1,423,887
資産合計	4,328,478	4,274,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,489	52,241
未払法人税等	23,082	28,809
前受収益	707,503	669,506
賞与引当金	107,781	60,300
その他	206,540	240,430
流動負債合計	1,091,396	1,051,289
固定負債		
退職給付引当金	322,164	352,467
役員退職慰労引当金	2,795	3,551
繰延税金負債	168	245
長期前受収益	1,015,947	1,011,264
その他	2,915	2,186
固定負債合計	1,343,991	1,369,715
負債合計	2,435,387	2,421,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	271,323	228,424
自己株式	△85,671	△85,682
株主資本合計	1,970,134	1,927,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77,044	△74,093
為替換算調整勘定	—	798
その他の包括利益累計額合計	△77,044	△73,295
純資産合計	1,893,090	1,853,929
負債純資産合計	4,328,478	4,274,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,489,317	2,546,751
売上原価	677,153	704,606
売上総利益	1,812,163	1,842,144
販売費及び一般管理費	1,743,589	1,820,181
営業利益	68,573	21,963
営業外収益		
受取利息	9,948	8,323
受取配当金	165	185
雑収入	772	3,017
営業外収益合計	10,886	11,525
営業外費用		
支払利息	38	38
投資事業組合運用損	299	—
障害者雇用納付金	600	1,440
雑損失	1,713	88
営業外費用合計	2,650	1,567
経常利益	76,808	31,922
特別利益		
補助金収入	—	3,658
特別利益合計	—	3,658
特別損失		
固定資産除却損	2,779	1,352
投資有価証券評価損	1,330	—
事務所移転費用	813	13,106
固定資産圧縮損	—	3,658
特別損失合計	4,923	18,117
税金等調整前四半期純利益	71,885	17,463
法人税、住民税及び事業税	14,352	26,769
法人税等調整額	△4,573	△3,312
法人税等合計	9,779	23,457
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	62,105	△5,993
四半期純利益又は四半期純損失(△)	62,105	△5,993

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	62,105	△5,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,735	2,951
為替換算調整勘定	—	798
その他の包括利益合計	△11,735	3,749
四半期包括利益	50,370	△2,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,370	△2,243
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	71,885	17,463
減価償却費	35,144	27,680
のれん償却額	15,831	15,831
貸倒引当金の増減額(△は減少)	92	△380
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47,597	△47,480
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,431	30,303
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	765	756
受取利息及び受取配当金	△10,113	△8,508
支払利息	38	38
投資有価証券評価損益(△は益)	1,330	—
投資事業組合運用損益(△は益)	299	—
固定資産除却損	2,779	1,352
事務所移転費用	813	13,106
固定資産圧縮損	—	3,658
売上債権の増減額(△は増加)	225,755	221,084
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,015	△2,241
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,250	5,752
未払又は未収消費税等の増減額	13,761	△11,154
前受収益の増減額(△は減少)	△48,588	△37,997
長期前受収益の増減額(△は減少)	△38,744	△4,683
その他	28,670	27,345
小計	259,319	251,927
利息及び配当金の受取額	9,861	7,712
利息の支払額	△38	△38
法人税等の支払額	△17,287	△17,408
移転費用の支払額	△813	△13,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,041	229,087
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△250,000	△327,000
定期預金の払戻による収入	300,000	286,000
有価証券の取得による支出	△353	△100,298
有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△3,988	△29,286
無形固定資産の取得による支出	△13,100	△29,536
投資有価証券の取得による支出	△2,099	△153,860
投資有価証券の償還による収入	50,000	—
関係会社出資金の払込による支出	△38,675	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,381	△2,253
敷金及び保証金の回収による収入	5,407	43,724
保険積立金の積立による支出	△286	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,523	△212,675

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△728	△728
自己株式の取得による支出	△95	△11
配当金の支払額	—	△31,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	△824	△31,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	607
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	294,740	△14,819
現金及び現金同等物の期首残高	748,235	972,867
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	34,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,042,975	992,273

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,950,391	538,925	2,489,317	—	2,489,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,317	1,800	8,117	△8,117	—
計	1,956,708	540,725	2,497,434	△8,117	2,489,317
セグメント利益	30,998	53,406	84,405	△15,831	68,573

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,955,136	591,615	2,546,751	—	2,546,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,833	900	21,733	△21,733	—
計	1,975,969	592,515	2,568,485	△21,733	2,546,751
セグメント利益又は損失 (△)	△35,025	72,820	37,795	△15,831	21,963

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。